



蘇 洪波 SU, Hong-Bo  
整形外科医。6年前に来日した経験をもとに、桂林市にリハビリ医療の必要性を説いた。



魏 長年 WEI, Chang-Nian  
熊本大学准教授。医学博士。桂林市の医療体制に強い危機感を抱き、今プロジェクトを提案。



闫 芳 YAN, Fang  
神経内科医。地域リハビリテーション理念の普及に、帰国後は尽力を尽したいと語ってくれた。



米満 弘之  
熊本機能病院理事長。18年前から桂林市との交流を持ち、同市の医療体制確立に貢献。



李 連春 LI, Lian-Chun  
神経内科看護師。チームで患者と向き合う看護体制を、自国でも強化していきたいという。

## 桂林市初となるリハビリ医療センターの創立に、熊本市が全面的に技術協力。

平成22年度草の根技術協力事業（地域提案型）のひとつ、『中国桂林市リハビリ医療センター人材育成支援プロジェクト』が、去る10月から12月にかけて、桂林市の姉妹都市である熊本市「熊本機能病院」でおこなわれた。熊本市・熊本大学病院・熊本機能病院の共同企画によるこのプロジェクトに、今回参加した研修員は3名。いずれも「中国桂林市中医院」に勤める医師・看護師だ。

医療サービス環境と緊急医療システムの改善により、数多くの脳卒中・心血管疾患患者の命が救われるようになった桂林市ではあるが、リハビリ医療・社会福祉システムについては、まだ整備されているとは言い難い。そのため、患者が一命を取り留めたとしても、治療後の自立や社会復帰を実現することができないケースが多発するという、深刻な問題を抱えている。こうした現状の解決に向け、現在「桂林市中医院」はリハビリ医療センターと回復期リハビリ病棟の設立を、3カ年計画で推進させているところだ。そして、そのための技術協力を、友好都市である熊本市

に要請。それが、この人材育成支援プロジェクトの発端である。今回、このプロジェクトがおこなわれた「熊本機能病院」は、開放的な吹抜け空間で患者がリハビリに取り組むなど、ユニークかつ先進的な発想の数々で、日本のリハビリ医療をリードしてきた存在だ。患者・医療スタッフとの対等なコミュニケーションを徹底し、患者が劣等感を感じることなく“人間の尊厳”を守ることができる医療を、同病院は実践し続けている。3名の研修員たちは皆一様に、その理念に強い関心と共感を抱いたようだ。医師と患者が対等に語り合い、パートナーとして社会復帰を目指す。こうした姿勢が、「桂林市中医院」をはじめとする中国の医療機関には欠如しているのだという。「私自身も日本のリハビリ医療を学ぶ前は、患者に対して一方的な言葉（指示）を投げかけることが多々ありました」と、神経内科医である闫氏は語る。だが、今回のプロジェクトを通して、患者との対話が持つ重要性を再認識したという。桂林市初のリハビリ医療センター設立に

向け中心的な役割を担う蘇氏は、「こうした理念を医療従事者と地域社会に浸透させることができれば、桂林市でもより多くの患者の社会復帰を実現することができるはずだ」と力説する。一人っ子政策などの影響により、今後は日本と同様に高齢化が進むと考えられている中国。今後、飛躍的に増加するであろうリハビリ患者の“尊厳”を守る医療体制の確立は、急務だと言えるだろう。桂林市のリハビリ医療センター設立、そして今回来日した3名の仕事も、同国における地域リハビリ医療体制確立に向けた、偉大なる一歩となることを期待したい。



病院が持つ陰鬱なイメージを可能な限り排除した、明るく清潔な空間が特徴的な熊本機能病院。

KUMAMOTO

GUILIN

### 中国・桂林市とは

中華人民共和国広西チワン族自治区に位置する桂林市は、山水画のような雄大な自然景観に囲まれた国際観光都市。1979年、熊本市と友好都市締結をおこなった。







## 南太平洋諸国の教師たちが、日本の教育現場を視察。

ドロップアウトする生徒が絶えないなど、数々の問題を抱える南太平洋諸国の教師たちが、日本の中学校の熱意ある教育に触れた一日。

2010年11月30日、青年研修プログラムに研修員として参加する20名の南太平洋諸国の教師たちが、飯塚市立庄内中学校を訪問した。南太平洋諸国で教育に携わる彼らは、『生徒に考えるきっかけを与え、自分自身で答えを見つけさせる』という同校の熱意ある教育姿勢に、一様に深い感銘を受けていたようだ。

庄内中学校では、年に数回研修員の受入れをおこなっているが、これは同校の生徒たちにとって、外国人・異文化との交流を持つことができる、かけがえのない機会になっているという。「こうした経験を通して国際感覚を身につけ、日本人として何をすべきかということまで考えられる人間に成長してほしい」と、今回の研修員受入れに尽力をつとした猿渡教諭は語る。ただ一方的に技術・ノウハウを提供するのではなく、受入れ先にも国際交流を通して得られる数多くのメリットがある。これも、青年研修プログラムの大きな魅力だと言えるだろう。



飯塚市立庄内中学校/主幹教諭  
**猿渡 和則** (青年海外協力隊OB)  
青年海外協力隊として、2006年までセントビンセントおよびグレナディーン諸島に滞在。帰国後、飯塚市立庄内中学校教諭に就任した。

## Science

●生徒たちの“理解”を深める充実した理科実験  
理科の授業は、今回の研修運営を担うJOCA九州の山本真理子さんが、「先生たちの教育に対する意気込みを感じてほしい」という狙い通りの展開に。実験をスムーズに進行させる段取りの良さと、生徒たちの理解度の高さに研修員たちはしきりに感心していた。



## Mathematics

●学力に応じて最適な授業を実践する数学  
週に1度はクラスを3グループに分け、それぞれのレベルに応じた授業を展開する3年生の数学。この日最後におこなわれた教員への質疑応答では、グループ分けや試験方法についての質問が集中した。研修員の一人は、帰国後さっそく自身の授業にも取り入れるという。



## Welcome Concert

●全生徒が研修員たちに伝える歓迎の気持ち  
午後から開催された「ウェルカム・コンサート」は、ブラスバンド部による演奏から始まり、最後は260名の全生徒による大合唱。この熱烈な歓迎に応え、研修員たちは南太平洋諸国に伝わる伝統的なダンスを披露。会場は、大きな拍手と和やかなムードに包まれた。



## Activities

●スポーツを通してお互いの意志が通じ合う瞬間  
生徒たちと研修員がチームを組み、マダガスカルのスポート“クバーラ”(陣取り型のスポーツ)を楽しむ体育の授業。3年生たちは多少緊張しながらも、言葉の壁を乗り越え、体全体を使ってコミュニケーションを取りながら、積極的に楽しんでいる様子が見られた。



COLUMN



## Voice from JICHO! JICA九州次長/吉田勝美

今回の草の根技術協力事業と青年研修事業の特集は、いかがでしたか？  
ところで、JICAの各種事業は国際協力機構法に基づいて行われます。草の根技術協力は青年海外協力隊と同じ条項である第13条第1項第4号に規定されています。法文上、技術協力はJICAが主体なのに対し、協力隊や草の根技術協力は青年やNGO等が主体となっていくもので、JICAはこれを支援する立場にあると定義されています。  
最近の社内メルマガで、元来、青年の育成事業として発足した協力隊を過度に開発事業の文脈の中に閉じ込めているのではないかといった記事に接し、改めてこれら事業の性格やJICAの立場を再確認したところです。  
2011年も皆さんにとってよい一年となりますように…ハッピーニューイヤー!

RECOMMEND

## くまもと国際協力啓発月間 ~聞いてみよう、世界の声~

開催期間 ● 3月1日~31日 会場 ● 熊本市国際交流会館

九州のみなさんに途上国の現状や国際協力の現場の声をお届けするため、なんとかしなきゃ!プロジェクトと連動し、さまざまなイベントを企画しています。



- 第1弾** 国際緊急援助隊!被災地の現場  
写真展 開催日 ● 3月1日(火)~15日(火) 体験談 開催日 ● 3月5日(土)
- 第2弾** NPOソルト・パヤタス「フィリピン・パヤタス地区の子どもたち」  
写真展示 開催日 ● 3月12日(土)~24日(木) 報告会 開催日 ● 3月12日(土)
- 第3弾** 青年海外協力隊 途上国の料理教室&ワークショップ「世界の食と途上国の現状」  
開催日 ● 3月26日(土)

他にも様々なイベントを開催いたします。内容・開始時間等の詳細は、JICAデスク熊本 TEL ● 096-359-2130 Email ● jicadpd-desk-kumamotoshi@jica.go.jp まで。

EVENT

▼ 日程	▼ イベント名	▼ 場所	▼ 時間	▼ 対象
1月15日	第1回chaokao cinema テック子どもたちは海を見る 上映会	長崎シビックホール2階	17:00~19:30	一般、chaokao関係者、シビックホール利用者
1月16日	出前講座スキルアップセミナー	かごしま県民交流センター 大研修室1	13:00~17:00	協力隊OB(主に平成22年度に帰国した隊員)
1月22日	ワールドフェスタ in 都城におけるJICAコーナー	宮日会館 大会議室	12:00~16:00	都城市民を中心とした宮崎県民
1月29日	JICA新卒職員採用説明会	JICA九州	14:00~16:00	一般
1月29日~30日	GLOBALINK ~世界とつながっている私たち~	イオンモール宮崎 スペースコート	10:00~17:00	宮崎県民
2月22日~(3月10日迄)	JICA鹿児島パネル展 in 鹿児島空港	鹿児島空港ビルディング到着ロビーフリースペース	7:00~20:30	一般
2月27日	タイ・チェンマイでの活動報告会 ~チャレンジ!国際協力を活用した市民による国際協力のカタチ~	アバンセ 佐賀県立男女共同参画センター 佐賀県立生涯学習センター	未定	県民、NGO関係者、大学生他
2月28日~(3月4日迄)	JICAボランティア写真展 in 佐賀駅TERA	JR佐賀駅構内 イベントスペースTERA	9:00~19:00	一般
2月予定	NPOサポート講座	アイネス男女共同・参画プラザ	未定	NPO・市民活動団体関係者、草の根技術協力事業関係者

## JICA九州センター内情報

JICA九州展示企画【1~3月大展示】 研修員さんいらっしゃい♪~情報通信・地域開発・経済開発編~

### JICAFe World Menu

日替わりメニュー	World Lunch
1月【寒い冬のポカポカメニュー】 坦坦麺	1月 フォー・生春巻 [ベトナム]
2月【ご当地ラーメンフェア】 山形風辛味噌ラーメン	2月 未定 [ブラジル]
3月【春の味覚フェア】 ぜんまいのピビンバ丼	3月 グリーンカレー [タイ]